



第1287号  
No.23  
2026年1月20日



2025-26年度 国際ロータリーのテーマ  
**UNITE FOR GOOD**  
「よいことのために手を取りあおう」  
RI会長 フランチェスコ・アレツツォ

2025-26年度 東京恵比寿ロータリークラブのテーマ  
「五感でロータリーを楽しもう」  
**Let's enjoy Rotary with all your senses**  
会長 徳江 陽子

## 1.20 本日のプログラム

イニシエーションスピーチ

磯部 雅代 会員 萬 英子 会員

### 今後のプログラム

|         |                                                                        |
|---------|------------------------------------------------------------------------|
| 1月27日   | ゲストウェルカムデー 卓話<br>駐日モンゴル国 特命全権大使<br>バンズラグチ・バヤルサイハン閣下<br>@ ウェスティンホテル東京 楓 |
| 2月 3日   | 休会                                                                     |
| 2月 6・7日 | 地区大会                                                                   |
| 2月17日   | クラブ協議会（第1回）@ ウェスティンホテル東京 桜                                             |

### 例会出席者数

1月13日 第1329回例会

|                 |                                                 |
|-----------------|-------------------------------------------------|
| ゲスト<br>Guest    | 小澤 順一郎さん (ゲストスピーカー)<br>石井 清香さん                  |
| ビジター<br>Visitor | モントゴメリー 結美さん (LA5RC)<br>石井 逸郎さん (東京四谷RC)        |
| 出席報告            | ゲスト・招待 2名<br>国外ビジター 1名<br>国内ビジター 1名<br>出席者数 61名 |

## 幹事報告

幹事 横町 俊智さん

第7回の理事会が開催されました。  
以下の承認事項が議題に上がり全て承認頂きました。

- 1) 当地区内ミクロネシア連邦のトラックラagoon (チューク諸島) 石油流出災害への5万円の義損金の協力
- 2) 退会者2名の承認 (鈴木 弘恵さん、田中 大貴さん)
- 3) 観桜会の予算及び案内の承認
- 4) 30周年記念例会の収支報告について
- 5) 事務局家賃値上げ及び更新について
- 6) 地区出向者の承認について  
地区戦略計画委員会委員 伊藤 千恵さん  
青少年奉仕委員会・青少年交換委員会 副委員長 鏡川 陽介さん  
青少年奉仕委員会・RYLA委員会委員 岡村 育代さん
- 7) 第一回東京恵比寿RC協議会の開催 (2月17日)  
30周年後の未来の東京恵比寿RCの在り方について

\* 次週1月20日 (火) 例会から以前にお伝えしていました規約集 (赤い冊子) の読み合わせを行いますので、忘れずにお待ち下さい。

## プログラム委員会

副委員長 奥田 隆章さん

第3回のゲストウェルカムデーの案内です。すでにmailでご案内しております通り、1月27日ウェスティンホテル東京となります。当日の卓話講演者は、駐日モンゴル国特命全権大使のバンズラグチ・バヤルサイハン閣下となります。卓話の内容は、まだいただいておりませんが、皆様お誘い合わせの上ご参加下さい。

## 新会員ご紹介

氏 名 かわもり たくみ 川森 拓己さん  
事業所 アルヴァ株式会社  
住 所 〒153-0064 東京都目黒区下目黒1-1-14 コノラビル7階  
職業分類 情報サービス (AI開発・Web App開発)  
紹介者 熊崎 善夫さん 妹尾 八郎さん  
入 会 日 2026年 1月13日

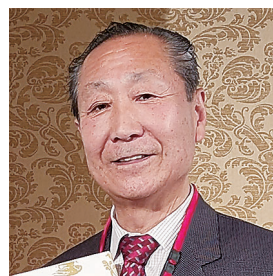


## Happy Birthday

1月生まれの皆さんお誕生日おめでとうございます。



## ユネスコ文化遺産登録 日本人と日本酒



小澤酒造株式会社 取締役会長

おざわ じゅんいちろう

小澤 順一郎 さん

「澤乃井」の小澤でございます。現在の東京都青梅市沢井で元禄15年(1702年)に創業いたしまして、320年以上酒造りを続けております。2024年に日本のお酒がユネスコ無形文化遺産に登録されて、それ以降は講演の機会が増えました。例えば青梅市の市民講座ですとか、昔は絶対呼ばれなかった中学校にもお声をかけていただきます。校長先生に「中学生相手にお酒の話をしているんですか」と同うと、「日本の文化ですから結構です」と。それで先行投資ということでお話をさせていただいています。講演が終わると質問コーナーがございまして、生徒さんから「なぜ大人はお酒を飲むのですか」と聞かれます。お酒は飲んでも飲まなくてもよいもので、飲まないから病気になってしまうわけでも、死んでしまうわけでもない。飲まなくてもよろしいのですが、世の中にはお酒を提供してくださる場がいっぱいございます。本当は「お酒を飲んでもらわないとウチが潰れてしまうから」と言いたいところですが、それでは答えになりませんので、想定内のお話をします。お酒つまりアルコールを飲むと、脳の中にドーパミンという物質が放出されます。これは快楽物質と呼ばれていて、気持ちよくなるわけです。それでお酒を飲むのですが、最近はWHO(世界保健機構)がアルコールの害をいろいろ言うようになりました。すると世界中にたくさんいるアルコールの研究者たちが憤慨するんですね。今までは「ドーパミンが出て気持ちよくなるからお酒を飲む」だけだったのですが、その状態で仲間と場を共有すると人間は社会的動物なので孤独を忘れられ、幸せな気持ちになれる。それから組織の維持や発展にも大いに役立つということを言い出しました。アルコールには害があるかもしれませんが、日本酒やワインは醸造酒、発酵食品ですから、いろんな栄養素を含んでいて、お肌がツルツルになります。栄養補助食品としてお酒をお飲みになっていただければよろしいのではないかと思います。

今日の本題になりますが、ユネスコの話をしていただきましたので、日本のお酒文化についてお話をさせていただきたいと思います。日本のお酒はそもそも神様へのささげ物でした。神道の中で最も古いものの一つに山岳信仰があります。信仰ですから対象は神様ですが、いわゆる「God」ではありません。Godとは何かというと、人間型の神様です。キリストやブッダやアラーの神、これらがGodです。では日本の神様は何かというと、自然崇拝です。われわれは自然に生かされている。人間だけでなく、動物も植物もすべて自然の中で生かされている。そういう至極まっとうな信仰でございます。その対象の一つとして山がありまして、たいてい山の上には祠があります。この山が一つの神様ですよということです。Godの場合は必ず教義、神の教えというものがあって、それに沿って生きていかなければならないので非常に大変です。同時に信仰が戦争の種になったりしまして、本末転倒のように思います。一方、日本の神道には教義がございませんので、皆さんも気楽に神様との接点を持たれていると思います。ただ教義こそないものの存在意義がありまして、一体何かと申しますと、代表的な神事として冠婚葬祭があります。結婚式を例にお話すると、その昔は神様の前で誓うことで婚姻が成立すると考えられていました。本来は神様がいる山の上に行かなければいけないのですが、大変なので麓に社殿を創りました。そこに神様をお呼びして、婚姻の誓いをする。その後は神様にお帰りいただいて、そこに残った酒と肴を関係者で飲み食いする。これを「直会」といいますが、そういう神事を連綿と続けてきたわけです。お米は貴重ですから、お酒もそんなにガブガブ飲めるわけではありません。ハレの日しか飲めないから、「今日はいっぱい飲んじゃえ。飲めるだけ飲んじゃえ」ということで、ハメを外しちゃう人も出ます。それはハレの日しかお酒が飲めないことの名残でして、周りも大目に見てしまうところがあります。日本のお酒というのは特別なもの、神様にささげるものですが、

そうやってハレの日には口にできるものとしてずっと存在してきたわけです。

やがて庶民もお酒を当たり前飲める時代がやってまいります。これが江戸時代のことです。江戸幕府を開いた徳川家康は独裁者です。ただし歴史上も現代も独裁者がたくさんいますが、その中で私は徳川家康が一番偉いと思っています。なぜかという軍縮をしたからです。他の世界でそんなことをした独裁者は1人もいません。家康が軍縮したことで世の中に武士がいっぱい余ってしまい、それで何をしたかというお米の増産です。当時税金はお米で払っていきまして、お米はお金でした。ですからお米がたくさんできれば国が豊かになる、お金持ちになる。だからお米を一生懸命作れとなりました。当時の収税システムは一つの集落に庄屋さんがいて、村中のお米を米蔵に入れて代官が要求する分をそのつどお納めするやり方でした。不作の年もありますから、それに備えて米蔵には常に余分のお米が入っている状況を作って対処していたわけですが、そのうちお米がたくさん取れるようになり、米蔵がお米でいっぱいになります。それで困って、幕府や藩にどうすればよろしいですかとお伺いをたてますが、処分することは許されません。なぜかと言うと、お米を市場に出すと「米安」になってしまうからです。現代のわれわれが「円安」で困るのと同じことが、起きてしまうわけです。それで溢れるお米の活用法として推奨されたのが加工でした。今で言うところの6次化であればよいということになって、味噌屋や醤油屋、酒屋があちこちにできて産業化されました。こうして時代劇によく描かれるような、皆が飲み屋に行ってお酒を飲める時代がやってきたわけです。

ただ毎日お酒を飲むのは、良いことばかりではありません。われわれの体は体内で処理できない濃度のものが入ってくると、水で薄めて処理しようします。アルコールでいうと、5度から7度ぐらいの濃度が一番処分しやすい。お酒だけを飲んでいたら体中の細胞から水分を供出させ、それで薄めて処理しようとするために、たくさん飲むとあとで喉が渇くことになります。これはしょっぱいもの、甘いものでも同じです。よく「酒一升、水一升」といわれますように、日本酒は15度ですから同量の水を飲んでいただくと非常に処理が早い。翌日もすっきり起きれます。ワインも度数が高いので、お水を飲んでいただくと良いと思います。ビールは飲むとトイレが早くなる、処理がとても早いアルコール飲料です。われわれの業界ではとにかく細く長く飲んでいただくことがありがたいので、「和らぎ水」という言葉を使って一般の皆さんにおすすめています。それともう一つ、日本人には少ないのですが、お酒の飲み過ぎからアルコール依存症に

なる人がいます。私どもの会社に入ってくる人は全員お酒が好きで、私がこの仕事に就いて1人だけアル中になってしまった社員がいました。父がお世話して婿入りまでさせたのですが、アルコール依存症になってしまって仕事ができなくなり、婚家を追われました。実家からも勘当され、受け入れてもらえません。私は天涯孤独になってしまった彼を見捨てるわけにもいかず、保護者になってアパートを借りてあげました。それで1週間に1回程度住まいをのぞきに行くのですが、流し台の下を見ると焼酎の大きなボトルが入っているんです。本人は口では「飲んでいません」と言いましたが、絶対に飲んでいきます。やがて症状が悪化してアルコール依存症治療病院に入院するしかなくなって、私はお役御免となりました。その病院の先生とは何度か面談して親しくなったこともあり、「先生。実は私も毎日夕方になるとお酒を飲むことしか考えられません。これってアル中ですか」と尋ねたことがあるんです。すると「お話を聞いている限り、あなたはアル中にはなれません。あれは選ばれた人の病気で、誰でもなれる病気じゃない」と。お酒が好きな人は、最初に胃をやられる。胃が丈夫な人は肝臓をやられる。胃も肝臓も丈夫な人がアル中になる。だからあなたは絶対ならないと言われて、これは良かったと安心してお酒を飲んでいたのですが、7年ぐらい前に食道がんになってしまいました。つまり私は一次予選で敗退してしまったわけです。日本酒やワインやビールなどではなく、もっと強いアルコールを10年近く飲み続けないとアル中になれないそうで、まさしく選ばれた人が罹る病気です。

最初に申し上げましたように、われわれがお酒を造っているのは社会の潤滑油として皆さんに楽しんでいただくためです。そのために不健康になってしまったら、元も子もありません。ぜひ健康飲酒を心がけて人生のお供にいただければと思います。本日はこのような貴重な機会にお呼びをいただき、大変ありがとうございました。



新年初の例会を祝い、小澤酒造「澤乃井」の樽酒で鏡開きを行いました。

## 大塚ろう学校訪問

社会奉仕委員会 副委員長 稲生 有伎子さん

12/24(水)小雨降るクリスマスイブ、大塚ろう学校幼稚部冬のお楽しみ会のサンタクロースとトナカイとして参加してきました。サンタクロース役は鈴木宏治会員、トナカイ役は宇都宮純子会員が扮して23名の可愛いお子さんにプレゼントを渡しました。



## ニコニコBOX



### 石井 逸郎様 東京四谷RC

明けましておめでとうございます！東京四谷ロータリーにも遊びに来て下さい。

以下、東京恵比寿RCの皆様から頂戴致しました。

### 深谷 理恵子さん

まずい！今期まだ1回もニコニコしておりません。新年早々反省してニコニコ。

### 河合 克美さん

本年も宜しくお願い致します。

### 鈴木 宏治さん

本年もよろしくお願い致します。

### 田嶋 孝造さん

新年お目出とうございます。本年もよろしく。

### 堀井 良造さん

昨年10月、肩で又入院しまして体重が約10kg、へりました。少しガンバってふとります。

### 赤塚 聖子さん

皆様本年もよろしくお願い致します。

### 大島 路恵さん

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 安藤 邦子さん

初夢で親睦旅行で迷子になっている夢を見ました。今年も親睦活動委員会を宜しくお願いします。

### 葉田 いつのさん

明けましておめでとうございます。長いお休みでしたが、又、宜しくお願い致します。

### 山内 啓三郎さん

明けましておめでとうございます。30年記念も終了し、身体も心も軽くなりました。

### 児嶋 三枝さん

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

### 徳江 陽子さん

令和8年の新年夜間例会に青梅澤乃井、小澤酒造の小澤順一郎会長に越し頂き鏡開き出来ます事、幸福に、光栄に存じます。

### 神山 欣也さん

明けましておめでとうございます。今年もがんばります。よろしくお願い致します。

### 宮下 忠芳さん

新年、馬耳・うまいく様に祈念します。馬耳東風、馬の耳に念仏、どちらもゆるせない人が増えた、世界のリーダーは皆こんな感じで、今年は大変！！

### 藤原 峰之さん

あけましておめでとうございます。今年も頑張ります。

### 熊崎 善夫さん

新年明けましておめでとうございます。川森さん入会おめでとうございます。皆様これから川森さんをよろしくお願い致します。

### 丸山 勝さん

あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いします。

|       |     |      |            |
|-------|-----|------|------------|
|       |     | 前回まで | 1,123,200円 |
| 1月13日 | 18名 | 合 計  | 118,000円   |
|       |     | 年度合計 | 1,241,200円 |

本日もご協力いただきありがとうございました。

## 事務局より連絡

事務局メールアドレス

代表 office@ebisurc.org

飯澤 (月～金 10:00-17:00) office3@ebisurc.org

松川 (月・火・金 13:00-16:00) office2@ebisurc.org



1月のRIレート 1ドル 156円

Rotary  
東京恵比寿ロータリークラブ



事務局 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-20-2-912

TEL 03-5420-6801 FAX 03-5420-6802 URL <http://ebisurc.org>

会長/徳江 陽子 幹事/横町 俊智 週報委員長/丸山 勝 副委員長/花房 幸範 委員/古川 孝蔵  
佐藤 康 妹尾 八郎 南谷 えり子 和田 勝美

例会日:毎週火曜日 12:30～13:30 例会場:ウェスティンホテル東京